

平成29年10月11日

輸送動向について（平成29年度上半期）

1. 輸送概況

上半期は、6月下旬から7月中旬頃にかけての全国各地での大雨、7月下旬の東海道線送電障害、8月上旬の台風5号の接近および9月中旬の台風18号の影響等により、全体で高速貨675本、専貨8本が運休となった（前年同期間は、高速貨969本、専貨12本が運休）。

コンテナについては、ドライバー不足を背景に鉄道へのシフトが進んでいる積合せ貨物が、東海・九州地区間をはじめ全国的に好調となったほか、国内新車販売台数の増加に伴い、自動車部品も東海・東北地区間を中心に堅調に推移した。また、食料工業品では、関西発北陸向けのビール輸送が順調に推移していることに加え、北海道・新潟地区発等で菓子類の輸送が好調となったため、前年を上回った。

一方、紙・パルプが印刷紙・コート紙の需要減少および定期修繕実施月変更等により、前年を下回ったものの、コンテナ全体では前年比104.0%となった。

車扱については、石油が配送圏の見直しに伴い鉄道へのシフトが進んだことから、前年を上回った一方で、セメント・石灰石は需要減少等により大幅な減送となった。その結果、車扱全体では前年比101.3%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比103.3%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	上半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	10,995	10,572	104.0%
車 扱	3,962	3,910	101.3%
合 計	14,957	14,481	103.3%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	848	826	22	102.7%
	化学工業品	1,044	1,030	14	101.3%
	化学薬品	725	694	31	104.4%
	食料工業品	1,951	1,896	55	102.9%
	紙・パルプ	1,480	1,534	-54	96.5%
	他工業品	791	727	64	108.8%
	積合せ貨物	1,389	1,300	89	106.8%
	自動車部品	421	334	87	126.1%
	家電・情報機器	220	217	3	101.1%
	エコ関連物資	244	222	22	110.1%
	その他	1,883	1,791	92	105.1%
	コンテナ計	10,995	10,572	423	104.0%
車 扱	石 油	2,603	2,498	105	104.2%
	セメント・石灰石	633	703	-70	90.1%
	車 両	396	398	-2	99.7%
	そ の 他	330	311	19	106.0%
	車 扱 計	3,962	3,910	52	101.3%
合 計		14,957	14,481	476	103.3%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）